

# 意見交換シート

## 【学校側が事業所に期待すること】

- ・ 卒業のタイミングでの施設やGHの空きがなかなかない。
- ・ タイムリーに施設やGHの空き情報が公開できるシステムがあったら良い。
- ・ 障害の多様化により施設等とのマッチングが難しい。
- ・ 相談支援事業所の経営が厳しく人員確保が難しい
- ・ GHの特色が様々になってきている。もっと発信できたら良い。
- ・ 短期間のGH体験ではわからないことがある。利用者同士の関りでメンタルを崩す人も多い。
- ・ 施設やGHの金銭管理の難しさを知った。
- ・ GHを希望する際になぜGHを利用したいのか目的を確認できると良い。
- ・ GHを利用する場合に身に付けておいてほしいことを示してほしい。
- ・ 平日利用の進路は決まっても、休日は、日中一時支援を希望する人が多くいるが、事業所数が減少してきている。
- ・ 日中活動の送迎範囲などを勘案するとGHの候補が限られてしまう。
- ・ 協議会の部会等に支援学校も入ってみては。
- ・ 学校で事業所・GH・相談支援事業所の保護者説明会を行い理解を深めていくのも良いのでは。
- ・ GHの宿直・夜勤の支援内容について教えてほしい。

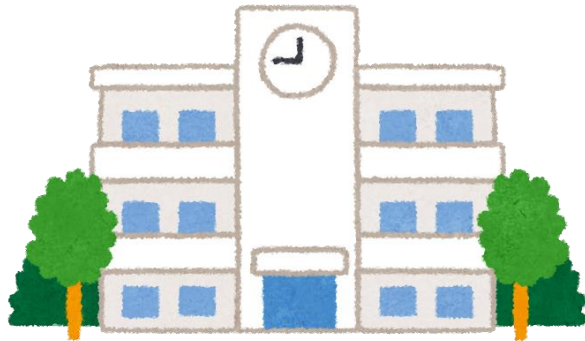
# 意見交換シート

## 【事業所が担う役割、学校に提供できるサービス、課題】

- ・事業所側としては来春の卒業生のために1年近く空けておくことは難しい。3月に空いても4月には埋まってしまうこともある。その間市町村から半額程度でも料金を負担してもらえると検討の余地があるかも。
- ・学校から利用者のできることを伝えられていたができていないことがあった。
- ・GHの世話人不足。職員の高齢化。
- ・体験、会議等を行っても各機関からの情報が統一せずズレが生じる。
- ・夜間支援員を配置しているGHには障害支援区分を取ってから入居してほしい。
- ・人材確保が難しい。
- ・施設やGHで公共交通機関の利用の練習対応は難しい。
- ・女性入居者で男性職員NGなど職員配置が難しい。
- ・スマホの使い方への対応、マッチングアプリによる交友関係、異性関係の広がり、ゲームの課金等の対応が難しい。
- ・利用料等親に頼らざるを得ないケースがあり、相談員を配置したいが人件費が足りない。
- ・就労B型事業所の体験面談会（各ブースを回る）では、説明だけでなく実体験ができることで学校や事業所側の理解も深まり良い機会であると思う。
- ・措置入所者は放課後等デイサービスを利用していないため事業所につながりにくい。
- ・行政で協議会の部会を設けて情報交換の場を開いてほしい。（福祉部門、病院）
- ・R7.10から開始する就労選択支援の詳細がわからない。

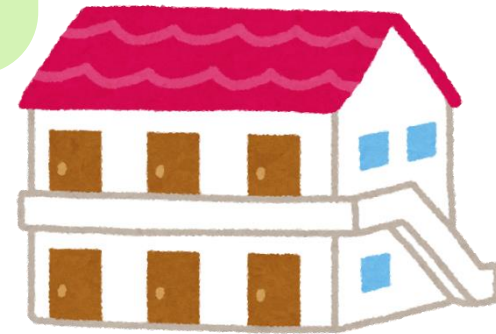
# グループワークのまとめ

## 支援学校

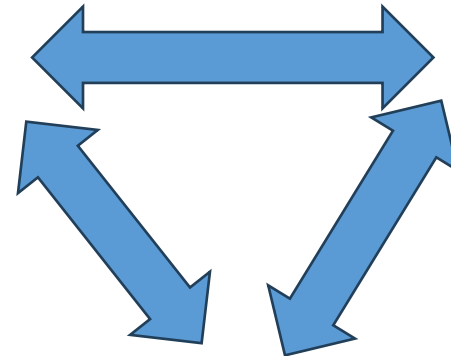


- 利用者の特性、生活をするうえで身に付けておくべきこと、緊急時の対応、支援できることを十分に共有する。わかりやすくリスト化しても良いかも。
- GHの特色を発信し、マッチングに繋げる。
- 学校で事業所の体験会や保護者説明会を実施すれば理解が深まるのでは。

## 入所施設、GH



## 行政



## 市役所



- GHの空き状況。  
(よりタイムリーな情報が欲しい)
- 協議会の部会等に支援学校も参加し情報交換できる機会があれば良い。

- 空き状況について情報共有。
- 就労選択支援への理解を深める。  
互いにありのままを伝える
- 学校で分かった支援方法の共有
- こまめな情報連携により各機関からの情報が統一させる。
- GH入居に際して障害支援区分をつけることでの報酬の安定化。